

1 計画の背景と目的

全体＝第2期計画と同様の構成

2 計画の位置付けと期間

(1) 計画の位置付け

(2) 計画期間

(3) 区域の設定

3 現状と課題

→ 本市の就学前教育・保育の現状を分析し、課題を抽出

(1) 施設（定員の推移など）

(2) 人口推計（就学前児童人口の推計など）

(3) 児童（入園児童数、入園待ち・待機児童数など）

(4) 職員（公立保育園の職員数など）

(5) 国の政策（就学前教育・保育関係施策(こども未来戦略)等の概要)

(6) 第2期計画の進捗

(7) 本計画における課題

(8) 第3期子ども・子育て未来プランとの連携

4 事業者意向調査

5 基本方針

「現状と課題」「事業者意向調査」等を踏まえ、基本方針を定める

6 整備等に向けた施策

7 特定課題と対応の方向性

基本方針に基づき、整備等に向けた施策を定める

8 最後に

特に重要となる課題と対応方向を整理

■想定される課題（基本方針の方向性）

◎キーワード：「少子化」「多様な保育・子育て支援ニーズ」「インクルージョン」「医療的ケア児」「こども誰でも通園制度」「保育士不足」等

▶少子化の状況下においても、**多様な保育ニーズに対応し、持続可能な提供体制**を構築する必要がある。

※引き続き、公立保育園の在り方の実現に向けた取組（民営化・廃止）を推進